

平成30年度 果樹情報（第10号）

平成31年3月18日
福島県会津農林事務所農業振興普及部
JA会津よつば西部営農経済センター

◎防霜対策を徹底しましょう！！

◎今後の気温の推移に注意し、管理作業（せん定、摘ら
い、休眠期防除等）を計画的に実施しましょう。

1 防霜対策について

発芽後は霜注意報などの気象情報を確認し、必要に応じて防霜対策を実施しましょう。
特に、果樹類は、開花期から幼果期にかけて、耐凍性が最も弱くなりますので、注意
しましょう。

(1)被害が発生しやすい気象条件

- ア 夕方になり風がやむ
- イ 夜になり晴れ上がり、雲がない
- ウ 土壌や空気が乾燥している

(2)事前対策

ア 栽培管理による対策

傾斜地では、冷気は園地の低い方へ流れるため、傾斜の下に防風ネット等がある
場合は、冷気を溜めないようネットの下を巻き上げましょう。

草生栽培の下草が伸びた状態や、敷きワラ等のマルチは、日中の地温上昇を妨げ
るため、下草は常に低く刈り込み、マルチは凍霜害の危険期を過ぎてから実施しま
しょう。また、土壌が乾燥している場合は、適宜かん水しましょう。

イ 燃焼法等による対策

晩霜対策には重油や固形燃料利用、防霜ファン、散水による凍結防止法等があり
ます。霜害防止のため、燃焼資材の準備などを早めに行い、対策を実施しましよ
う。

表1 防霜対策と使用資材について

対策名	使用資材	燃焼資材	10a 当たり設置数	燃焼時間 (時間)
燃焼法	ミルク缶	灯油 (※) せん定枝チップ	80	2.5
	霜キラー(市販品)	固形燃料	20	3.5
防霜ファン		—	1.5 台	—
散水法	スプリンクラー	—	4 t / 1 時間	—

※灯油は引火性が強いので、燃焼中の給油は絶対に行わない。

表2 各樹種の生育ステージ別の凍霜害を受ける温度 (単位: °C)

樹種	品種	発芽期	花卉(花蕾)露出期	1~3葉期	開花直前	満開期
リンゴ	「ふじ」	-2.5	-2.1	—	-2.0	-1.5
モモ	「あかつき」	—	-2.5	—	-2.5	-2.5
ブドウ	「巨峰」	-4.6	—	-2.0	—	—
オウトウ	「佐藤錦」	-3.0	-1.5	—	-1.7	-1.7

※樹園地の気温は、气象台発表の温度よりも2°C程度低くなります。

表3 カキ「平核無」の低温(-2~-3°C)に遭遇した芽の被害率(農業技術体系より)

品 種		平核無			
生育ステージ		発芽期		展葉期	
時 間		1時間	3時間	1時間	3時間
被害芽率	結露 有	100%	100%	100%	100%
	結露 無	33.3%	70%	100%	100%

(3)事後対策

ア 開花期までの被害

結実確保を図るため、人工授粉を徹底しましょう。特に、開花期が低温や強風、乾燥条件で経過すると結実が劣る場合があるので、人工授粉はより丁寧に行いましょう。なお、被害にあった花器の花粉は受精能力が低下していることがあるので、注意が必要です。

摘果は被害が明らかになるまで遅らせ、果形やサビの状況を確認して実施しましょう。

ブドウでは、主芽が被害を受けても副芽が正常な場合にはこれを利用し、芽数の確保に努めましょう。

イ 結実期以降の被害

摘果作業は被害の軽微な樹からはじめ、肥大の良いもの、形が良くサビの少ないものを残しましょう。

被害を受けて着果量が不足すると樹勢が強くなるおそれがあります。被害が大きい場合は不良果もあえて残すことで、樹のバランスを維持しましょう。

また、徒長枝が多く発生し、受光体制が悪化するため、これらのせん除や誘引等により受光体制を改善して、新梢の充実を図りましょう。

2 気象概況

平均気温は、1月が平年より0.5℃高い-0.1℃、2月が平年より1.4℃高い1.3℃、3月1半旬が平年より3.4℃高い4.8℃、2半旬が平年より3.2℃高い5.2℃でした。降水量は1月が73.5mmで平年の77.1%、2月が36.0mmで平年の50.4%、3月1半旬が20.5mmで平年の179.8%、2半旬が11.0mmで平年の97.3%でした。

表4 気象経過（アメダス若松より）

月	半旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比%
1		-0.1	-0.6	0.5	6.3	2.6	3.7	-6.9	-3.7	-3.2	73.5	95.3	77.1
2		1.3	-0.1	1.4	12.6	3.6	9.0	-4.9	-3.6	-1.3	36.0	71.4	50.4
3	1	4.8	1.4	3.4	13.1	5.7	7.4	-3.5	-2.3	-1.2	20.5	11.4	179.8
	2	5.2	2.0	3.2	15.5	6.5	9.0	-3.0	-1.9	-1.1	11.0	11.3	97.3

【東北地方1ヶ月予報（仙台管区气象台3/14発表、3/16～4/15）】

- ・向こう1か月の平均気温は高い確率が60%です。
- ・週別の気温は、1週目(3/16～22)は、高い確率が60%です。2週目(3/23～29)は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目(3/30～4/12)は、平年並または高い確率ともに40%です。

3 今後の生育及び管理作業について

管理作業（せん定、摘らい、休眠期防除等）は計画的に実施しましょう。

この時期の生育は、直前の気温に大きく影響を受けるため、気温の推移に注意し、**発芽前の防除は遅れないように実施しましょう。**

参考 各樹種の発芽日(1986～2018年の平均値)

樹種	リンゴ				モモ	カキ
	会津若松市 北会津町		磐梯町		会津若松市 神指町	会津若松市 門田町
調査地点						
品種	ふじ	つがる	ふじ	つがる	あかつき	会津身不知
発芽日(平年)	4/3	4/1	4/5	4/3	3/29	4/10

ア 発芽予測について（福島市飯坂町 3月11日現在）

福島県農業総合センター果樹研究所での発芽予測では、今後の気温が平年より2℃高く経過した場合、**モモ「あかつき」の発芽は3月18日頃で平年より7日早く、リンゴ「ふじ」の発芽は3月22日頃で平年より6日早い**と予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるため、注意しましょう。

4 病害虫防除について

(1) リンゴ

ア 褐斑病

昨年は平坦部を中心に、褐斑病が多発した園地が見られました。多発した園地では、農薬が樹全体にかかるようにせん定を行いましょう。また、薬剤防除は散布間隔が開きすぎないように、また、散布ムラが無いように注意して実施しましょう。

会津若松管内のリンゴ園でチオファネートメチル（トップジンM水和剤）に対する耐性菌の存在が確認されました。褐斑病防除でチオファネートメチルを使用する際は、単剤での使用を控えましょう。

イ 腐らん病

近年、腐らん病の発生が増加しているため、休眠期防除を徹底しましょう。発病部は完全に削り取るかせん除し、園外で適正に処分しましょう。

ウ ヒメボクトウ

ヒメボクトウ被害が発生している園地では、粗皮削りを実施しましょう。

(2) カキ

ア カイガラムシ

カイガラムシの発生が多い園地では、発芽前に機械油乳剤95 25倍を使用しましょう。

イ ヒメコスカシバ

ヒメコスカシバ被害が発生している園地では、せん定時に被害部を削り、内部の幼虫を捕殺しましょう。

発芽期前後にガットサイドS 1.5倍またはトラサイドA乳剤 200倍を、薬液が芽にかからないように注意しながら、主幹部、主枝及び亜主枝の分岐部または樹幹部に散布しましょう。

ウ その他越冬病害虫

カキヘタムシガやカキクダアザミウマなどの越冬害虫対策のため、粗皮削りを実施しましょう。

農薬の使用に当たっては、必ず最新の登録情報(使用時期、使用回数など)を確認の上、適正に使用しましょう。